

特別外国人学生用 日本語科目について

- ・特別外国人学生用の日本語科目の授業レベルは、初級 J0 から上級 J8 までの 9 段階です。
- ・日本語科目の履修を希望する学生は、日本語プレイスメントテストを受けなければなりません。プレイスメントテストでは、コンピューターによる文法、語彙、漢字のテストと作文、インタビューを行います。なお日本語を学習した経験がない、または少ない学生には、インタビューとひらがなのテストを行います。
- ・日本語科目の授業レベルは、日本語プレイスメントテストの結果によって決まります。決められたレベル以外の授業を履修することはできません。聴講することもできません。
立教大学では、「知っている」「勉強したことがある」ではなく、「習得している」「正しく使うことができる」ことを基準に学生の授業レベルを決定します。過去に学習したことのある項目（レベル）であっても、それが正しく使えていなければその項目を習得している（そのレベルに達している）とはみなしません。長い間勉強していなかったのを忘れてしまっただけだと訴える学生がいますが、そのような場合でもプレイスメントテストの結果と異なるレベルに配置することはありません。自分の望むレベルでの学習を希望する場合は、事前に復習しておいてください。
- ・日本語を学習した経験がないまたは少ない学生でも、J 1 以上のクラスを希望する場合は、来日までに以下のWEBサイトを利用し、ひらがな、カタカナの読み書きができるように自分で勉強してきてください。ひらがなの読み書きテストに合格しなければ J 1 を履修することはできません。（J 0 は履修できます）
 - ①基本練習用 <https://nihongo-e-na.com/jpn/>
 - ②書く練習（ひらがな） <http://u-biq.org/hiragana/aka.html>
 - ③書く練習用（カタカナ） <http://u-biq.org/katakana/an.html>

<授業レベルについて>

レベル	履修資格基準
J0	日本語学習経験のない学生（あるいは少ない学生）で、買い物やレストランでの注文など日常生活に必要な日本語を学びたい学生向けです。日常生活で使用する日本語表現を学びながら、ひらがな・カタカナも学んでいきます。自分は半期しか日本にいないけれど、日本語という言葉がどういう言葉かちょっと触れてみたい、せっかく日本に留学したので日本語を少し勉強してみたいという学生に最適です。また、1 年日本にいる学生で、まずはゆっくりひらがな・カタカナや基礎的な日本語を勉強してから、J1 に入りたいという学生にも適しています。
J1、J1S	日本語を学校などで勉強したことはないが、ひらがな・カタカナの読み書きができ、簡単な日本語の表現を知っていて、基礎からきちんと日本語を勉強したい学生、また、日本語を学校などで勉強したことがあるが、動詞・形容詞の基本的活用や助詞の使い方が完全とは言えず、間違いがなくなるようにきちんと完璧に勉強したい学生に適しています。 * J1 クラスに入るためには、ひらがな・カタカナが読めて書けることが必要です。J1 クラスを希望する場合、プレイスメントテストでひらがなのテストを受けて、パスする必要があります。
J2、J2S	動詞や形容詞の基本的活用ができ、基本的な語彙を 500 語程度習得していて、それを使って日本語で話したり、書いたりすることができるレベル。教室での会話、自分の趣味や好きなこと、嫌いなこと、自分の経験、やりたいことなどについて、形容詞・動詞を使って日本語で伝えることができる。また、ひらがな・カタカナ・基本的な漢字を使って書いてある文章を読んで理解できるレベル。
J3、J3S	日本語の基礎的な文型や 1,000 語程度の語彙を習得していて、日常生活の簡単なことは日本語でコミュニケーションすることができる。日常生活でゆっくりの会話で

	あれば、内容が理解でき、また、自分の言いたいこともある程度伝えられるレベル。
J4	初級の勉強はすべて終わっており、日常生活のほとんどの場面で日本語で対応できるが、正確に日本語を使ってコミュニケーションするのが難しいと感じるレベル。日本人と普通の会話スピードで会話したり、漢字・仮名交じり文で 800 字程度の作文を書いたりなどがまだ難しいと感じるレベル。
J5	日常生活の場面では、大きな困難や問題はなく概ね適切かつ正確に日本語で対応できるレベル。1,000 字程度の日本語の文章を辞書を使いながら漢字仮名交じりの書き言葉で書くことができるレベル。
J6	新聞、ネット上のニュース記事などをほとんど辞書を使わず、理解することができる。また、自分の興味のあるテーマであれば、1,500 字程度の日本語の文章を辞書を使いながら正確に書くことができるレベル。一般的な事柄についてであれば、自分の意見を日本語で正確に伝えることができるレベル。
J7	新聞や小説はもちろん、論文や本について、ほぼ辞書を使わず日本語で内容を理解することができ、2,000 字程度のレポートを書くことができる。また、学術的な内容も日本語で議論することができ、プレゼンテーションもできるレベル。
J8	高度の文法、漢字、語彙を習得しており、大学における学習・研究が十分日本語で行えるレベル。
日本語 演習 1-3	(J2-J5 レベルの学生のみ対象) 学生が既に学習した範囲での語彙や文型を用いて、出来る限り日本語で授業を進める。アニメ、映画、漫画及び小説等の多彩な教材を用いて、参加者の日本語の理解を促進する。
Japanese L&C *1, Japanese L&S *2	(J0-J3 レベルの学生のみ対象) 日本語の語彙や表記、慣用表現などについて、その背景にある文化的・歴史的なことから触れながら学んでいく。授業は英語と簡単な日本語で行われる。
漢字	(J4-J8 レベルの学生のみ対象) 立教漢字検定 (B1~B6、IA~IG、AA~AG) のテキストを対象として、B6~B4 は JLPT の N5 レベルの漢字 (総漢字数 : 209)、B3~B1 は JLPT の N4 レベルの漢字 (総漢字数 : 241)、IA~IG は JLPT の N3、N2 レベルの漢字 (総漢字数 : 775)、AA~AG は JLPT の N1 レベルの漢字 (総漢字数 : 852) を学習する。各学生が決めた分野に沿って漢字学習を行う。

*1 Japanese L&C = Japanese Language and Japanese Culture

*2 Japanese L&S = Japanese Language and Japanese Society

<各レベルの授業の種類>

J0	文法・語彙、口頭練習、総合練習	Japanese L&C, Japanese L&S 0-3		
J1, J1S	文法・文型、聴解・会話、読解、作文、トータルスキル			
J2, J2S				
J3, J3S				
J4	文法・文型、聴解・会話、読解、作文	総合日本語 4-6	総合日本語 6-8	漢字 4-8
J5				
J6				
J7				
J8	J8-AA, AB, AC: 日本の社会と文化 A, B, C J8-BA, BB: 社会の中の日本語 A, B J8-C: 論文読解の技法 J8-D: 論文作成の技法 J8-EA, EB: キャリアの日本語 A, B J8-FA, FB: ビジネスのための口頭運用力 A, B J8-G: ビジネスメールと文書			

講義内容はこちらを参照してください。 <https://cjle.rikkyo.ac.jp/syllabus/>

- * J1～J3 と J1S～J3S は、学期終了時到達目標は同じですが、授業を進める速さが異なります。
- * クラスレベルは日本語プレイスメントテストの結果によって決まります。希望するレベルに入れないこともあります。

- ・ J0、J1S、J2S、J3S レベルの学生は、週 3 回の授業をすべて履修しなければなりません。
- ・ J1～J3 レベルの学生は、週 5 回の授業をすべて履修しなければなりません。
J4 レベル以上の学生は、決定された授業の中から、希望する授業を履修することができます。
プレイスメントテストの結果によって指定されたレベル以外の授業を履修または聴講することはできません。
- ・ J1、J1S レベルは主に英語で説明します。授業の進行にあわせ、日本語での説明を増やしていきます。
- ・ 新座キャンパスで開講される漢字クラス以外のクラスでは、漢字は語彙として各授業の中で学習します。
また希望者は、授業で配付される漢字学習テキストから、毎週指定される 30 語程度の漢字を自習し、2 週間に 1 回授業の終わりに実施される「漢字テスト」を受けることができます。ただし、この漢字テストは成績評価には含まれません。
- ・ 漢字を学習したいという学生のために、「漢字検定」を各学期 2 回実施します。
- ・ **授業内での活動への参加を重視するため、欠席や遅刻が多い場合は成績・単位は付与されません。**
- ・ 期末テストのほか、授業中に行われる小テスト、中間テスト、宿題・課題の提出、プレゼンテーション・ディスカッションの実施など、全てが成績評価の基準となります。